

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.50

開催地：水上村

平成 19 年 11 月 15 日（木）、岩野公民館において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

村内	19 名
村外	0 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水流量が 7,000m<sup>3</sup>/s というのだが、市房ダムでも流入量が 1,000m<sup>3</sup>/s ぐらいあると思う。川辺川の方が流入量が多と思うが、本当に 7,000m<sup>3</sup>/s で良かったのか（もっと大きくなって大丈夫か）。
- ・基本高水 7,000m<sup>3</sup>/s の問題が新聞等載っていたが、今日の説明で半分くらい分かった。
- ・球磨川の将来に関する事なので、内容は難しいところがあるかもしれないが、若い世代にもこうした話を聞く機会を設けて欲しい。その時は、ほとんどわからないかもしれないが、その子供達が大きくなった時に、昔、こういう話を聞いたことがあったな、自分達も伝えていかなくてはいけないと思うような取り組みを行って欲しい。

【球磨川の治水対策について】

- ・幸野ダムの両側に堤防の計画は無いのか。

【球磨川の環境について】

- ・市房ダムのダム湖でも外来種が大変多くなった気がする。外来種の駆除などの対応ができないか。
- ・今年は雨が少なかったためにアオコが発生している。見た目も良くないので、対策をお願いしたい。
- ・上にダムがあるおかげで、下の方は渇水状態になっている。維持流量も流れていない。ダムがあるために砂利が流れてこない。河床が岩ばかりになってしまう。河川整備の中でそうしたことも考えて欲しい。
- ・何年かに 1 回、夏の水泳の時の事故があるが、川の両側がずっと護岸で、コンクリートで固めているために、事故の現場を発見してもすぐに飛び込むことが非常に困難。護岸が長く続くようなところは、何 m おきかに川に下りて行けるような階段を造って欲しい。
- ・多良木の中鶴橋の上流に、3 段くらいに蛇籠を積んでいるが、そのために、夏、子供が川の中に入って遊ぶことが非常に困難。非常に危ない。水辺には砂地もあるので、そこを工夫して子供が近づきやすいよう何とかできないか。
- ・葦が繁茂して、上流から下流へ行ったり来たりできない。市房第二ダムから公民館の横の橋までの間に子供にとって良い遊び場があったが、今は水もほとんど流れず、上ったり下ったりが出来ない状況である。
- ・昔は牛のエサにするために河原に草刈りにきていた人もいた。今はそうしたことも無く、葦が伸び放題になっている。

【その他】

- ・水上村の県営市房ダムでは、建設 50 年の節目及び水利権の更新期を迎える。議会でも、ダム湖周辺環境整備及び生活基盤整備に関する意見書を、熊本県知事、国土交通大臣に提出した。道路や橋梁整備、濁水対策など全国モデルとなる球磨川整備となるようお願いしたい。県でダム湖周辺環境整備事業を起こして欲しい。
- ・市房ダムの水利権の免除の更新について、管理者である県からの説明が無い。今後の日程を教えて欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

